■タイトル 料亭仕込みの技で老舗店をアップデートした和の匠 友永修治 友修



海がない竹田市の城下町ですが、その昔、町中には、魚屋が軒を連ねる賑やかな通りがあったそうで。その通りの名は「魚町」。ここで魚屋を営み、現在は和食料理店として営業を続けているのが「友修」です。



「『友修』の始まりは江戸時代。『あくたや』と言う雑貨問屋から歴史は始まりました。その後岡藩時代には曽祖父の友永修吉が魚屋『友修』を営むようになりましたが、戦時中、城下町を覆い尽くす昭和の大火によって消失してしまったんです。それから祖母が同じ場所で食堂を始めて、今まで営業を続けています。」

「結構物語があるでしょ?」と笑顔でこれまでの歴史を教えてくれたのは、友永修治さん。食堂として営み始めた『友修』の三代目店主です。



三兄弟の長男として育った友永さんは、小さな頃からおばあちゃんやお父さんが営む食堂を手伝っていました。 「将来は自分がお店を継がなければいけない」という使命感もあり、高校卒業後はお店を継ぐために大阪の調理師専門学校に進学。卒業後はそのまま大阪の寿司屋さんと、知り合いのツテを辿って京都の料亭で修行し、本格的に懐石料理を学びました。

25歳でUターンしてからは、「県内の業者との繋がりを増やしたい」と別府市内のホテルに勤務したりと、料理人としての技の習得、業者さんとの関係性の構築など、地元でお店を継ぐために万全の準備を整えた友永さん。

とは言え、せっかく習得した料理の腕を披露する場は食堂ではない形が良かったそうで。

「どうせ継ぐなら、もうちょっとハイカラにしたいやんか。」

お店を全面リフォームし、生簀を入れ、新鮮な魚を提供できるようにリニューアル。また石の灯篭を店内に配してみたり、坪庭を作ってみたりと創意工夫をしてみたものの、なんとお客さんが全然来ない状態に陥ってしまったのだとか・・・。

「最初は『俺は和食でやるんや、居酒屋メニューなんて置かんぞ』って白衣にカッターシャツを着て、ネクタイ締めて、バシッと割烹のスタイルでお店を開けたんですけど、全然ダメで。敷居が高いお店は地域に受け入れてもらえなかったんです。出鼻を挫かれてしまったので、そこからはみんなが来てくれるような料理じゃないといけんなって思って、串焼きとかも出すようになったし、相当砕けましたね(笑)。」



食堂として地域に根差して来た「友修」だっただけに、三代目による急な方向転換は常連客になかなか受け入れてもらえなかったのかもしれません。そこで友永さんは「たくさんの人に愛されるお店にしよう」と試行錯誤を続け、現在の「友修」に繋がる、本格的な味を親しみやすい価格で提供するお店へと舵を切りました。

友永さんがお店を継いでから早35年。「友修」では竹田に古くから伝わる郷土料理「頭料理」(周囲に海がない竹田で貴重な魚を頭から尾っぽまで余すことなく美味しく食べれるようにと考案された江戸時代から続く竹田の名物料理)や、特産のエノハを使った料理に加え、毎朝手打ちをして作る特製の蕎麦などをリーズナブルに提供。また地元のお寺さんから京料理の出張料理を頼まれたり、宴会で会席料理を頼まれたりと、気取らず、おごらず、気楽に行けて、しかも「ここぞ」という時にも利用できる、町に必要な料理店になりました。



「2014年、竹田では『DINING OUT TAKETA』というイベントがありました。岡城跡でプレミアムな野外レストランを開くというイベントで、2つ星のシェフが地元食材を使い、新たな感性で土地の豊かさを表現する料理を提供したのですが、そこに地元の料理人たちも携わることができたんです。小さな城下町にある飲食店同士は商売敵みたいな感じでしたけど、横の繋がりができたことはすごく刺激になりましたね。」

世界で活躍するシェフとの出会いや、地元料理人との関係ができたことで、より一層料理と向き合うようになった 友永さん。そんな父の姿を見て、数年前から2人の子どもたちも帰郷し、「友修」をサポートしてくれるようになりました。

雑貨問屋から始まり、魚屋、食堂、そして和食料理店へ。 様々な姿に変貌しながらも守り続けて来た「友修」の暖簾。

友永さんは今日も早朝から蕎麦を打ち、暖簾を掲げ、家族とともに新たな歴史を紡いでいます。

プロフィール 友修 店主 友永修治

昭和36年、竹田市城下町で「友修食堂」を営む友永家の長男として誕生。三代目として食堂を継ぐべく、大分市内の調理師専門学校卒業後、大阪の寿司屋、京都の料亭で修行を積み帰郷。食堂を、会席料理をはじめ、リーズナブルな定食メニューも提供する和食店へとリニューアルし、現在も家族とともに「友修」の暖簾を守り続けている。



たけたの食べ方マイスターとしての活動:

- ・料理教室(男性向け、子供向け、おもてなし料理など)
- ・魚の捌き方
- ・頭料理の歴史について講座

【友修】

住所:大分県竹田市竹田町284